



平成26年3月28日

各 位

会 社 ナブテスコ株式会社  
代 表 代表取締役社長 小谷 和朗  
(コード番号 6268 東証第1部)  
問 合 総務部長 松本 敏裕  
(T E L 03-5213-1133)

(訂正)「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成24年5月10日に開示した「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正理由につきましては、本日平成26年3月28日付の「過年度有価証券報告書及び過年度決算短信の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

記

訂正箇所及び訂正内容

※訂正箇所は下線にて表示しております。

①平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

4. 連結財務諸表 (8) 連結財務諸表に関する注記事項 (退職給付関係) 45ページ

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(訂正前)

2 退職給付債務に関する事項(平成24年3月31日)

退職給付債務	<u>△12,999</u> 百万円
年金資産	<u>4,459</u>
未積立退職給付債務	<u>△8,540</u>
未認識数理計算上の差異	<u>1,204</u>
退職給付引当金	<u>△7,335</u>

(注) 一部の連結子会社は、退職給付債務の算定に当たり、簡便法を採用しています。

3 退職給付費用に関する事項

勤務費用	<u>734</u> 百万円
利息費用	<u>249</u>
期待運用収益	<u>二</u>
数理計算上の差異の費用処理額	<u>317</u>
確定拠出年金への掛金支払額	<u>246</u>
退職給付費用	<u>1,548</u>

(注) 簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、勤務費用に計上しています。

4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
割引率	<u>2.0%(国内)</u>
期待運用収益率	<u>0%(国内)</u>
過去勤務債務の処理年数	発生時一括費用処理
数理計算上の差異の処理年数	10年

(数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定率法により、翌連結会計年度から費用処理することとしています。)

(訂正後)

2 退職給付債務に関する事項(平成24年3月31日)

退職給付債務	<u>△20,377</u> 百万円
年金資産	<u>11,371</u>
未積立退職給付債務	<u>△9,005</u>
未認識数理計算上の差異	2,013
<u>連結貸借対照表計上額純額</u>	<u>△6,992</u>
前払年金費用	<u>342</u>
退職給付引当金	<u>△7,335</u>

(注) 一部の連結子会社は、退職給付債務の算定に当たり、簡便法を採用しています。

3 退職給付費用に関する事項

勤務費用	854 百万円
利息費用	372
期待運用収益	<u>△159</u>
数理計算上の差異の費用処理額	324
<u>過去勤務債務の費用処理額</u>	<u>△166</u>
確定拠出年金への掛金支払額	246
退職給付費用	<u>1,473</u>

(注) 簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、勤務費用に計上しています。

4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準(国内)	給付算定式基準(海外)
割引率	<u>2.0~2.3%</u>	
期待運用収益率	<u>0~3.5%</u>	
過去勤務債務の処理年数	発生時一括費用処理	
数理計算上の差異の処理年数	10年	

(数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定率法により、翌連結会計年度から費用処理することとしています。なお、一部の在外子会社では回廊アプローチを採用しております。)

以上